

3 深める・広げる（思考の共有化）

リーダーが中心となり、考えを書いた付箋を貼りながら思考を深めていきます。

（１） 学びを深める対話の工夫



ペアやグループで互いの考えの同じ所や違う所を伝え合い、理解を深めます。

「ワールドカフェ」などの方法で互いの考えを交流し合い、用紙やボード等に出された意見をまとめていきます。

（２） 目的に応じた学習形態の工夫

【ペアトーク】

ペアで互いの考えを交流します。相手を変えながら交流し合うことで、児童が自分の考えをさらに広げ、深めていきます。

【グループトーク】

4人程度のグループで互いの考えを交流します。進行役が中心となって、考えを交流し合います。視点に沿って気づきや質問を出し合ったり、意見をまとめたりします。

【全体で交流】

全体で考えを交流し合い、互いの考えを深めていきます。その際、教師はコーディネーター的な役割を果たし、児童相互の交流が促進できるようにしていきます。

＜思考を共有化するための学び方の例＞

- ワールドカフェ
- ブレインストーミング
- マインドマップ

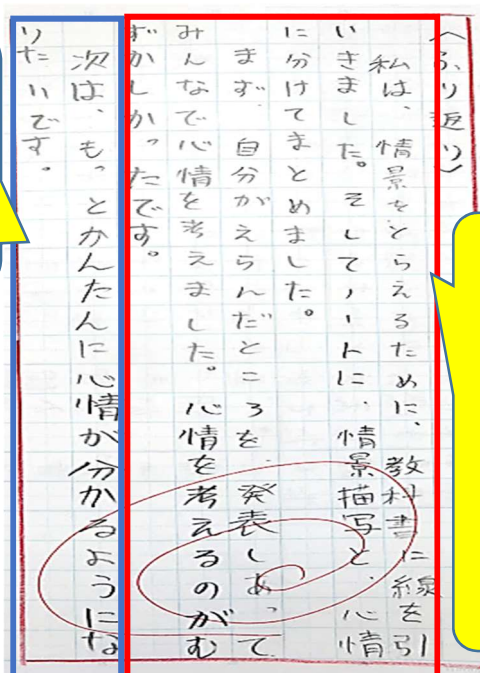
4 ふり返る（学びの可視化）

【ふり返りの3つの視点】

- （１） 学習内容の理解
- （２） 次の目標
- （３） 学習を通しての自分の変容

- ・ 低学年は、挙手による評価や発表によるふり返りを中心に行います。
- ・ 中学年以上は、文章記述によるふり返りを行います。それを交流し合い、互いの学びを認め合うことで、次時への意欲を高められるようにします。

次
に
が
ん
ば
り
た
い
こ
と



本時の学習でできたこと
分からなかったこと